

精密機械部品加工のプロ コロナ対策グッズにも光る技術力

富士テクノマシン

業歴43年の富士テクノマシン（大田区南蒲田、飯室肇代表取締役、03・5703・3566、<https://www.fujitm.co.jp/>、ISO9001：2015認定工場）は、半導体製造装置や産業用機械装置の部品加工を主業とした金属加工メーカーである。大田区では数少ない大型マシンングセンター（3000mmまで対応可）での大型部品加工を強みに他社との差別化を図りながら、非鉄金属から難削材まで扱い、試作開発、少量生産、量産品といずれも品質の高さに顧客の信頼は厚い。

コロナ禍で受注が落ち込む現在、今までのビジネススタイルを転換すべく社内で設計・製作

したコロナウイルス対策商品が話題を呼んでいる。ATM画面やエレベーターのボタンなど不特定多数の人が触る箇所に、直接手を触れず使える非接触タッチツール『Touch less Honu』は、素材に銅を使用した。銅は他の金属と比べウイルスの残存時間が最も短く、銅イオンの示す微量金属作用はすぐれた抗菌効果を持つ。ウミガメがモチーフの可愛らしいコロナ対策グッズとして読売新聞にも掲載された。



シックなカラーバリエーション（6色：写真はレッド）が揃う『マスクケース匠』
定価10,000円（税抜）



かわいいウミガメでウイルス対策！
『touch less Honu』 定価 1,200円（税抜）

また、食事の際などスマートにマスクを収納できる『マスクケース匠』は、アルミ素材を極限まで薄く削り、軽く高級感あふれる逸品。どちらも電子商取引（EC）を活用し、全国に販売を行っている。